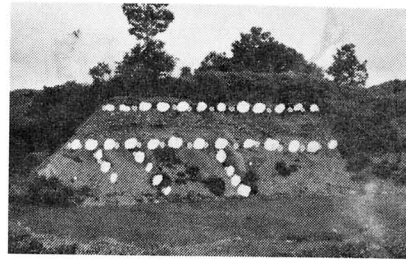


山都第一小学校

1、地層の観察

(1) 観察する場所

小舟寺字下平（石田坂）のがけ
俗称 鬼渡り（学校より900 m）

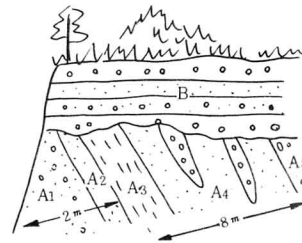


(2) がけから離れて地層全体を観察する。

① がけの全体が見通せる所に立って、がけの全景をスケッチする。

② 地層の色、地層の重なり方、水分を含んでいる地層があるか、など気付いたことを書き入れる。

③ このがけの見られる高台は、斜めに重なっているA₁～A₅の地層の上に水平方向のB層がつもってきていることを理解する。



④ 上につもっているレキからなる

B層を追って見ると、B層は水平方向に続いており、地層は水平方向にも広がっていることを理解する。

⑤ A₁～A₅層とB層との地層の重なり関係（中学校・高校資料）

一定の方向に傾斜しているA₁～A₅層の上に水平にB層が重なっている、見事な不整合関係が観察されます。

丁度、海岸に行くと、かたい岩盤の上に砂やレキがのって、そこに波がザブンザブンとぶつかっている風景をよく見かけます。この岩盤上の砂やレキは、岩盤や海岸がいの地層をけずりとってできたものです。

このように、下の岩盤の表面は波でけずられ、でこぼこしており、それを境にして上に砂やレキがつもっています。このことからわかるように、下の岩盤のできた時代（たい積した時代）と上の砂やレキのたい積した時代と